▶ 1 磁気に関するクーロンの法則(真空中)

 $F = 6.33 \times 10^4 \frac{m_1 m_2}{r^2}$ [N] $(m_1, m_2: 磁極の強さ、 <math>r:$ 磁極間の距離)

- ▶ 2 アンペアの右ねじの法則……電流の向きを右ねじの進む向きと考えれば、電流によって生じる磁界の向きは、右ねじの回転する向きになる。
- 5 **フレミングの左手の法則**……左手の中指で電流の向き、人差し指で磁東の向き を指すと、親指の向きが電磁力の向きとなる。
 - ▶ 4 電磁力の大きさ

F = BIl[N] (B:磁東密度, I:電流, l:導体の長さ)

■ 5 ファラデーの法則

 $e=Nrac{arDelta arDelta}{arDelta t}$ [N] (e:誘導起電力の大きさ,arDelta arDelta:arDelta t 秒間の磁束の変化分)

- ▶ **6** フレミングの右手の法則……右手の人差し指で磁束の向き、親指で導体の運動 の向きを指すと、中指の向きが誘導起電力の向きになる。
- $m{7}$ 静電気に関するクーロンの法則 (真空中) $F = 9 \times 10^9 \frac{Q_1 Q_2}{r^2} \ [\mathrm{N}] \quad (Q_1, \ Q_2: 電荷の大きさ, \ r: 電荷間の距離)$
- 電荷Q[C], 電圧V[V], 静電容量C[F]の関係 Q = CV[C]
 - 2 コンデンサの静電容量

 $C = 8.85 \times 10^{-12} \varepsilon_r \frac{A}{l} [F]$

 $(\varepsilon_r:$ 比誘電率. A: 電極の面積. l: 電極間の距離)

20 **10** n個のコンデンサを並列接続したときの合成静電容量 C[F] C = C₁ + C₂ + C₃ + ··· + C_n [F]

▶ 11 *n* 個のコンデンサを直列接続したときの合成静電容量 *C*[F]

$$C = \frac{1}{\frac{1}{C_1} + \frac{1}{C_2} + \frac{1}{C_3} + \dots + \frac{1}{C_n}} [F]$$